

墨田区オリンピック・パラリンピック地域協議会
会議録

会議名 第4回 未来枠会議
日時 平成30年6月14日(木) 18時00分～19時10分
会場 区役所122会議室
会議の概要 1 情報提供 資料1-1～1-4を基に、区よりこの間、組織委員会から発表された東京2020大会に関する情報を提供した。 2 前回までの議事内容の確認 資料2及び3を基に、これまでの議事内容を確認した。 3 意見交換 【会員の意見】 : 部会員 : 区・事務局 (1) ランニングイベントについて これまでいただいたアイデアや意見については、今後の区の検討にあたっての素材として受け取らせていただき、ランニングイベントの検討については、本日の会議で終了することで決定した。 区で具体的な検討をしていくに当たり、取り入れられないものもあると思うので、ご了承ください。 (2) 今後の検討テーマについて この未来枠に求められているものは何なのか。 区へのアドバイザー的な役割、 独自にプロジェクトを検討する役割等、 そもそもの主旨・方向性を定める必要がある。 墨田区オリンピック・パラリンピック地域協議会及び未来枠の目的を説明。 それぞれが、この未来枠に参加した目的を共有した方がよいのでは。 自己紹介も兼ねて、出席者それぞれの目的を発表した。 目的がそれぞれ違う中で、未来枠の方向性を一つに定めなくてもよいのでは。 オリンピック・パラリンピックに関わりたいと思っている人は多いと思う。そのような人々への窓口のような役割ができればよいのでは。 一人では実現が困難なものを形にできる場であるとよいのでは。 聖火リレーに関わりたいという意見を聞いたことがある。障害の有無や年齢にかかわらず、様々な人々が関われるイベントができるとレガシーにつながると思う。 やりたいことはそれぞれあるので、なかなか話がまとまらないと思うので、東京2020大会の課題を解決する策を考えた方がニーズはあるのでは。 未来枠会議の運営方法自体も検討する必要があると思う。そのためには、一つコンセプトが必要なのでは。そのコンセプトを軸に考えればまとまりやすい。 コンセプトも具体的なものにするのか抽象的なものにするのか。 他の5つの部会では、どのような団体が参画し、どのような事について話し合っているのか。 事務局より説明 他の部会は、それぞれの分野の国や都の指針に沿って検討しているのでは。そのようなものがない未来枠は、自由な意見交換ができる分、区民目線に近いと言えるかもしれない

い。

他の部会は明確な指針があり、課題解決に取り組んでいるのであれば、未来枠は課題解決に縛られる必要はないかもしれない。

どちらかという、コンセプトはなくてもよいのではと思う。それぞれのアイデアを出し合い、その中から合意のもとにプロジェクトを選択する方法がよいのでは。

未来枠だけでなく、枠を広げて意見を求めた方がよいアイデアが出てくるのではないかと。未来枠では、出たアイデアを整理する側でもよいかもしれない。

機運醸成は他の自治体でも取り組んでいるので、コンセプトはなくてもよいかもしれないが、すみだらしさ・独自の取り組みであるべきだと思う。

コンセプトのような具体的なものはなくとも共通認識はあったほうがよい。

区民の為にやること、区に寄与することは必須条件ではないのか？

区民だけでなく区外の方もターゲットにしたようなイベントでも、区のプロモーションにつながるものであればよいと思う。

アイデアを出す際の条件はかなり自由度が高いとことが分かったが、我々は「未来枠」という名称であるため、どのイベントにも目指す「未来像」があるとよいと思った。

未来に向かって取り組んでいくことはとても面白いと思う。一人ひとりが作りたい未来は違うがそれらの総体がいい未来なのでは。この未来枠がそのような作りたい未来を実現できる場になるとおもしろい。オリンピック・パラリンピックに関わりたいのであれば、墨田区にこい、というくらい広くアイデアを募集してもよいのでは。

段々とコンセプト・方向性が決まってきているような気がする。誰でも参加できるハードルの低いイベントがあると次第に人が集まるのでは。

ボランティアの募集数は相当なものだが、これだけの人が集まるのは何かオリンピック・パラリンピックに関わりたいと多くの人考えているからだろう。ただ、ボランティアのように任された枠の中に留まらず、もっと多角的な関わり方ができると需要があるかもしれない。

「未来」や「誰でも参加可能」というキーワードが出てきた。これをコンセプトのようなものにするか？また、未来枠がイベントをやるのか、あくまでもアイデア出しの場であるのか、そのような部分も含めて検討が必要。

我々のアイデアを誰かにやってもらうのはハードルが高い。少しずつでも自分達でアクションを起こす方がよいと思う。

次回会議に、『多種多様な人々が関われるイベントやプロジェクト』のアイデアをそれぞれが持ち合い検討することで決定した。

参考情報

今年度内の節目 オリンピック2年前 = 平成30年7月24日

パラリンピック2年前 = 平成30年8月25日

オリンピック500日前 = 平成31年3月12日

- 4 次回の開催について
調整の上、決定する。